

FFL GLOBAL CHALLENGE #2

THE REVENGE

—大会規約—

1. 概要

FFL GLOBAL CHALLENGE #2(以下、本大会)は、株式会社Fennel(以下、運営事務局)が主催するApex Legendsを用いて実施される賞金制esports大会です。本大会に参加するチーム並びに参加選手(以下、選手)は本大会規約(以下、本規約)を確認、内容に同意し、全ての項目を遵守しなければなりません。

本大会は、以下の複数の予選大会及び決勝大会により構成されています。

- ・2022年7月29日~30日 一次予選 20:00-23:00:オンライン開催
- ・2022年8月6日~7日 二次予選 20:00-23:00:オンライン開催
- ・2022年8月20日~21日 日本代表決定戦 20:00-23:00:オンライン開催
- ・2022年9月17日~18日 決勝 11:00-15:00:オフライン開催@アメリカ合衆国

※予選実施回数はエントリーチーム数により変動する場合があります。

選手は3人構成のチームで参加し、オンラインで開催される予選大会に参加。日本代表決定戦で優秀な成績を取めた上位3チーム+選抜チーム¹1チームの計4チームが、アメリカ合衆国で開催される本大会決勝への出場権を得ます。

決勝は上記4チームに加え、NA(リージョンの規則はALGSに基づく)チームを16チーム招待し、合計20チームで争われ、上位チームには賞金が支払われます。

賞金総額:200万円 1位120万円/2位50万円/25万円/5万円

現地への渡航費用及び滞在費用は原則として運営事務局が負担します。

ALGS Championship PLAY OFF 出場チームには、日本代表決定戦へのシード権を与えます。

¹ 選抜チームについて

8月6日、7日に行われる日本代表決定戦終了後、決勝出場が決定した上位3チーム以外のチームとして参加していた選手から1名ずつを選出/招待し、3名の選抜チームを結成します。(選出に関しては運営監修の元、※2 APEX LEGENDSに古くから知見のある人物に選出させていただきます。)

選抜チームへの参加に関しては、本規約に同意した場合、特段の事情がない限り拒否することはできないものとします。

また、選抜チームとしての練習期間を9月中に1週間程度設け、そちらへの参加が必須となります。

FFL GLOBAL CHALLENGEに関する日時や登録期間、会場などの詳細は公開準備が整い次第、FFL APEXのTwitterアカウント(@FFL_APEX)に掲載されます。

参加に当たっての注意事項 1

1-1 選手の移籍が発生した場合に関して

・本大会はALGS Championship PLAY OFF後のチームビルディングを考慮し、参加に際し制限を設け、6月24日～7月18日の応募期間に登録されたメンバーが本大会開催時点で2名以上がい
ない場合、参加権利は移籍先のチームに譲渡もしくは、選手個人に移行します

【例:選手A、B、Cで登録→A、B、Cがチームから脱退する場合】

・選手A、Cの移籍先が決まっており、本大会への参加意思がある場合は参加権利がA、Cに移る
(移籍先のオーナー&メンバーとの協議の結果により、Bとの3人では出ることとは可能とする)

・選手A、Cの移籍先が決まっておらず、本大会への参加意思がある場合は参加権利がA、Cに移
る(メンバーとの話し合いで、Bとの3人では出ることとは可能とする。(その際のチーム名称は運営と
協議の上決定する)

※日本代表決定戦終了後の移籍に関し、アメリカへの渡航が決まっているチーム間での移籍の
場合でも、登録時のメンバーは2名以上チームに在籍していなければならない

※3人がそれぞれ異なる違うチームに移籍した場合、3人それぞれの移籍先の承認が得られ
れば、元の3人チームで参加可能とする(その際のチーム名称は運営と協議の上決定する)

※選抜チームの参加選手を選定する人物に関する詳細は公開準備が整い次第FFL APEXの
Twitterアカウント(@FFL_APEX)に掲載されます。

1-2 2022年 7月のALGS Championship PLAY OFFに参加するチームへの対応

・ALGS Championship PLAY OFF参加チームには”日本代表決定戦へのシード権を付与します”
・ALGS Championship PLAY OFF参加チームに限り、本大会への参加権利は選手に帰属するこ
とはなく、チームに付与されるものとします。 ※1-1の条件が発生しません。
・ALGS Championship PLAY OFF参加チームの選手登録期限は8月1日23:59までとします。
※上記以外及び特殊なケースに関してはFFL運営の裁量で各予選ラウンドにおいて参加チーム
及び選手を決定する場合があります。

2.参加資格

①本大会規約に同意すること。(未成年の選手については保護者も本規約を確認し、これに同意

していること)

- ②日本国籍もしくは韓国国籍を持ち、本大会開催期間中に日本国内もしくは韓国国内に在住していること。又は、運営事務局が参加可能と判断した国籍の方。
- ③運営事務局が指定する試合全てに参加できること。
- ④日本代表決定戦の結果、上位3チーム+選抜チームに選定された場合、2022年9月17日～9月18日にアメリカ合衆国にて開催される決勝に現地に渡航(開催日の前後に移動時間が発生します)の上、参加できること。
- ⑤アメリカ合衆国渡航に際し、日本国及びアメリカ合衆国が定める「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を遵守すること。
- ⑥アメリカ合衆国入国の条件をクリアしていること(2011年3月1日以降にイラン、イラク、北朝鮮、スーダン、シリア、リビア、ソマリア、イエメンに渡航また滞在したことがない)ビザ免除プログラム「ESTA」(エスタ:電子渡航認証システム)を出発の72時間前までに選手自身で取得できること。
- ⑦上記参加資格を持つ3人以上のチームで本大会にエントリーできること。

⑧2022年8月7日時点で有効期限が2022年9月末日までのパスポートを所持している、もしくは2022年8月7日から早急にパスポートの作成に尽力し、取得後速やかにその情報を運営事務局に伝えること。

※パスポートの作成は1ヶ月以上かかる場合があります。

⑨2022年8月7日の日本代表決定戦までに新型コロナウイルスワクチンの接種を2回以上完了していること

※ワクチン接種が2回以上完了していない場合、アメリカ合衆国に渡航することはできません

※アメリカ合衆国入国に関する制限は、社会情勢により決勝大会開催時点で変更になる場合があります。

現在(2022年6月24日)の日本⇄アメリカのガイドライン

アメリカ出国 → 日本入国

2022年6月1日以降のオミクロン株に係る対応(2022年6月23日現在)

区分	ワクチン接種照明	入国時検査	入国後の待機期間
赤	なし	あり	3日間検疫施設待機(+施設検査陰性)
	あり	あり	3日間自宅待機+自主検査陰性検査を受けない場合は7日間待機
黄	なし	あり	待機無し
あり	なし		
青	なし	なし	
	あり	なし	

現在のアメリカの区分【青】

※今後のアメリカの感染状況により区分が変更になることがあります。

日本出国 → アメリカ入国

入国条件	ワクチン	接種証明	ESTA	パスポート
	2回以上接種必須（接種後14日以上経過）	必要	必要	必要

出入国条件 (18歳以上)	出発72時間以内に現地で新型コロナウイルス検査を行い、到着した空港にて陰性証明書を提示	空港到着時に健康状態に関する質問票と、接触確認アプリのインストールに同意する誓約書の提出
------------------	---	--

出入国条件 (18歳未満)	ワクチン	ワクチン接種証明の免除を受けて入国した場合、米国入国から3～5日後の検査、及び陰性であっても5日間の自己隔離の手配が必要（ただし、18歳未満の者については、ワクチン接種証明を保持する大人に同伴して入国する場合は、コロナ感染が疑われる症状が無い限り、隔離は不要。また、過去90日以内にコロナ陽性から回復したとの証明がある場合を除く。）。
	接種の必要なし	

3. エントリー

本大会に参加を希望するチームは、運営事務局の指定する入力フォームに、エントリー期間内に下記内容を不備なく入力しなければなりません。入力フォームはFFL APEXのTwitterアカウント(@FFL_APEX)にて、公開されます。

エントリー期間：2022年6月24日～7月11日23:59

エントリーはチームキャプテンが代表して行ってください。

エントリー時に必要な情報：

- チーム名 チーム名の読みがな
- チームのロゴ(画像データ)
- チームメンバー(3人以上5人以下で内韓国国籍を持つ選手は最大1名まで)
- チームメンバーの読みがな
- TwitterID
- 有効なEAアカウントID
-
-

なお、エントリーが完了した時点で、チーム及び参加選手全員が本規約に同意したものとします。

4.参加エントリーの注意事項

4-1.チーム構成に関して

選手は本大会で複数の登録チームのメンバーになることはできません。

FFL GLOBAL CHALLENGE決勝の出場権を得たチームがその出場権を維持するには決勝出場メンバーの内、2人以上が予選に参加したメンバーである必要があります。選手はチームから自ら離脱する、またはチームキャプテンの権限によりチームから退会させられる場合があります。

4-2.チームキャプテン

エントリー時にキャプテンとして登録した選手がチームキャプテンと見なされます。チームキャプテンは、エントリーで自身のチームの正式メンバーを管理、チームの選手になるよう新規プレイヤーを勧誘、ならびに本大会に向けエントリーする責任を負います。チームキャプテン役の指定は、チームの多数派の選手によって変更される場合があります。チームキャプテンを変更するときには運営事務局の承認が必要になります。新しいキャプテンはチームの既存の選手でなければなりません。

4-3.チーム名に関する注意事項

本大会エントリーに際し、チームキャプテンは自身のチーム名を決定し、エントリーする必要があります。チーム名は他のチーム名と異ならなければならない、運営事務局の認定の対象になり、企業や団体と同一または類似する名前が付いたチームは、自分たちがその組織の代表していることを証明する必要が生じる場合があります。また、運営事務局の判断によりチーム名の変更を依頼された場合はそれに従わなければならない。

4-4.追加の提出内容

日本代表決定戦の出場が決まった時点で、宣材写真の提出を求めます。
やむを得ない事情のある選手に関しては、正当な理由があると運営事務局が判断した場合のみ未提出での出場を許可します。

5.居住証明のための書類提出

日本代表決定戦に出場するチーム及び選手にのみ提出を求めます。
選手は、日本代表決定戦への出場が決まった時点で参加資格となっている居住地の証明書類を運営事務局に提示する必要があります。
前記の証明または文書の充足性は運営事務局の独自の裁量により判断します。また、決勝への招待を受けた選手は旅行資格の宣誓書に署名・返送し、適格な国の名前と住所が記載されたパスポート情報を提示する必要があります。
未成年の選手は、政府発行のIDが利用できない場合は、学校のIDカードを提示させられる場合があります。親権者と法定保護者も政府発行のIDを提示する必要があります。

居住証明を提出できない又は不十分であった場合日本代表決定戦の参加資格を取り下げ次の成績優秀チームに参加権利が与えられます。

6.提出された情報の使用権利

6-1.ゲームに関連する情報

選手は運営事務局が同選手のIGNやアイコン、試合結果等を以下の目的のために使用することに同意したと見なされます。

- 本大会と関連した他のメディアでの記載。
- 本大会と関連したマーケティングおよびプロモーションでの使用。

6-2.プライバシーポリシー

提出された選手の個人情報参加資格の確認エントリー、アメリカの渡航手配等の業務で使用し本大会終了後すべて処分させていただきます。

7.その他権利

写真と動画：大会会場、会場までの移動中で撮影したもの

8.プロモーションへの協力

運営事務局が依頼したプロモーションへの協力を可能な限り手伝うことを義務とします。

- 大会関連のツイートの拡散
- インタビューやチーム、選手の紹介コンテンツへの協力
- FFL GC 本戦出場が決まったチーム紹介の番組、ドキュメンタリーの出演

8-1.ユニフォームに関して

日本代表に選出されたチームには、運営から指定の上着方のユニフォームを贈呈します。日本からの移動やアメリカ現地での移動の際には指定のユニフォームを着用していただきます。本大会に協賛して下さるスポンサー様のロゴ等が指定のユニフォームに掲載されていますが、プロモーション協力の一環として、着用を義務付けます。

9.規約違反・ルール違反によるペナルティ

9-1.規約・ルールの違反行為

いかなる選手でも、大会規則、大会ルール、行動規範(これらを含みますが、それに限りません)を順守しない場合に、いかなる理由でも大会事務局の裁量で直ちに本大会の参加資格を失う可能性があります:

- 法令違反、運営事務局が独自の裁量により決定した大会規約または大会ルールに違反すること。
- ゲームプレイにあたって、不正行為、ハック、チートまたは他の第三者が作成したアプリケーションを使用すること。
- ゲーム中に意図的にインターネット接続を切断すること。
- マッチで他のチームと結託すること。
- ゲームにおける既知であった脆弱性を利用すること(現時点で違法となるゲーム内の脆弱性を把握し回避することは、プレイヤーの責任です)。
- SNS含むオンラインでの嫌がらせ、否定的、または下品な表現を含め、侮辱的または秩序を乱す行動(死体撃ちを含む)を取ること。
- 別の選手の本大会への参加を干渉または妨げること。
- 嫌がらせ、脅迫、いじめ、不要なメッセージの継続的な送信、あるいは人種、性的志向、宗教、遺産などに関する個人的な攻撃または発言をすること。
- 運営事務局が、不適切、虐待的、嫌がらせ、卑俗な、名誉毀損、恐喝、卑猥、性的、他人のプライバシーを侵害する、暴力的、攻撃的、下品、と(合理的かつ客観的に)判断した、いかなるコンテンツの公開、掲載、アップロード、または配布、あるいはいずれかの活動、グループまたは組合の結成または参加すること。
- 本大会、スポンサー企業に対して評価上の悪影響やリスクをもたらす行為。
- まだ公表されていない機密情報の公開。
- 上記の禁止活動を行わずとも推進し、奨励し、またはこれに参加すること。
- 大会中、終了後の授賞式、インタビュー、映像作品または大会全体、ならびに運営事務局またはその他スポンサーが要求した適切なプロモーション活動に参加しないこと。
- 一切の八百長行為。
- 本大会中のいずれかのタイミングに、いずれかの理由により、マッチに意図的に負けること。
- 本大会中いずれかのタイミングに、2次アカウントの使用を含め、別の選手を代行してプレイすること。

- 選手またはチームがマッチ中に相手に対して意図的に有利となるような行動をとること。
- 2つ以上のチームで賞金を分割することに同意すること。
- 反社会勢力と関係すること。

運営事務局は独自の裁量で、本大会のエントリーもしくは大会進行に対する不正行為、または大会規約違反、スポーツマンシップ欠如もしくは秩序を乱す行為などを含め、随時いかなる理由でも、いかなる選手またはチームに対しても資格を取り消せる権限を持ちます。個別の選手の資格喪失により、本大会からチーム全体の資格喪失につながる場合があります。本大会の正当な実施を故意に妨害する試みは、試みた者が誰であっても刑法および民法の違反になる可能性および実行された場合、運営事務局は法律で最大限許容される限りにおいて、損害賠償および弁護士費用を含むその他の賠償請求する権利を有します。

運営事務局による大会規約の条項の執行不能はその条項の放棄とは見なされません。

9-2.ペナルティの内容

大会規約の違反については運営事務局の独自の裁量で、処罰失格、マッチの結果の変更、および賞金没収の措置を取ることができるものとします。本大会に関連する運営事務局の決定および規則はすべて、本大会の最後まで拘束力を有するものとします。

運営事務局は、すべての選手をどの段階でも、いつでも、いかなる理由によっても、本大会から失格にする権利を有します。罰則には、以下が含まれます(順不同)：

- 警告措置
- 懲戒
- 1マッチの失格
- 全マッチの失格
- マッチスコアの引き下げ
- 授与金の返却(賞金および支払済の交通費を含む)
- 本大会の資格停止
- 本大会と今後の大会の参加資格剥奪、運営事務局はまた、競技者に課された罰則を公表する権利も所有します。

本規則で運営事務局から処罰を受けた選手は、運営事務局やそのいかなる関係企業に対しても法的措置を取る権利を放棄するものとします。

10.妨害に対する法的処置

本大会の正当な実施を故意に妨害する試みは、試みた者が誰であっても刑法および民法の違反になる可能性があり、

運営事務局は法律で最大限許容される限りにおいて、損害賠償および弁護士費用を含むその他の賠償請求する権利を有します。

11.本大会中に選手個人の参加資格が無いと判断された場合
出場登録確定日の前に参加資格がないことが判明した場合、

チームは無資格者を参加資格のある選手と交代させ出場することができます。運営事務局はチームで2名以上の無資格者が判明した場合チームの参加資格を取り下げることができます。

12.本大会続行可否

運営事務局は、不正行為、技術的な問題、またはその他の要因により本大会の完全性や正常な機能を損なう事態が発生した際に、
す。その他の情勢による中止や延期も運営事務局の独自の裁量によるものとします。

13.旅行費の注意事項

運営事務局が旅行費を支払う選手及びその範囲については、いかなる移動手段、ホテル、そして関連する移動であっても、運営事務局の独自の裁量によるものとします。選手自身が未成年である場合、その保護者が旅行の受諾に必要な全書類に署名し、チームに1人はアメリカ合衆国に同行する必要があります。これらの例では、旅行の宿泊施設料金には1人の保護者の追加航空運賃も含まれるものとします。

保護者は同じ旅程で一緒に移動する必要があり、同じ宿泊施設に宿泊するものとします。いかなる理由でも、選手の資格がはく奪されたり、旅行が没収された場合、運営事務局はその選手の旅行と宿泊施設を別の選手に与えることができます。
現地滞在中に選手自身の裁量で発生する費用(通話、ファックスの費用、インターネットへの接続料、スパ/ビューティーサロンのサービス、洗濯、旅行/遠出、ギフトショップでの購入、ホテルの手数料、航空サービス料金等)は選手とその同行者の単独負担とします。
有効なパスポートの取得やその他の旅行用書類の準備に必要な費用は選手の個人負担となります。

14.本大会の決勝での行動に関して

選手は他の選手、運営事務局および関わる施設のスタッフに対して敬意を持って接する必要があります。脅迫的または不適切な行動は許容できません。
そのような行動への罰則は、運営事務局により独自の裁量されます。選手は常に、運営事務局の指示に従わなければなりません。また、日本国内はもちろんのことアメリカ合衆国滞在中は当局の法令を遵守しなければなりません。

- 大会中の施設における選手によるアルコールは禁止されています。また、選手はアルコールの影響を受けている状態で参加することはできません。
- 大会中では、電子たばこや気化器の使用を含め、喫煙は、指定領域以外では禁止されています。大会会場によっては、全面禁煙の場合があります。

決勝会場までの移動中でのトラブル・事故等の責任は選手自身にあるものとします。

15.大会のルールに関して

運営事務局は予選開始日の1週間前までに各チームに大会ルールのアナウンスを行い、その大会ルールで大会を実施します。

運営事務局は独自の判断で大会ルールを本大会中でも変更できるものとし、その場合は各チー

ムにその内容を伝達するものとします。

16.現時点での大会ルール

公式大会ALGSのルールに則っています。

別途追加で大会1週間前までに詳細なルールがアナウンスされ選手はそのルールを遵守す

- 選手は、マッチの開始を意図的に遅らせることはできないものとすること。
- 選手はマッチが終わる前にやめることはできません。
- 選手は、マッチの開始を意図的に遅らせることはできないものとします。
- 選手は、ゲームを変更するスクリプトを使用できないものとします。
- 選手は、マップ形状内に隠れることはできないものとします。
- 選手は、マップ上の目に見えない壁の陰に意図的に隠れることはできないものとします。
- 選手は、ダウン状態で武器を射撃できないものとします。
- 選手は、別のプレイヤーを復活させている間、武器を射撃できないものとします。
- 選手は、目的外の競争優位を得るためにレジェンドのアビリティを利用できないものとします。

これらの悪用例には以下が含まれます：

- ーミラージュのファントムを使用して、武器を射撃できる状態のままダウン状態に入る。
- ーレイスのディメンションリフトと虚空へを組み合わせて、リスポーン後の虚空へのクールダウン時間を抑える。
- ーレイスのディメンションリフトを利用して、マップ形状内にポータルを作成する。○悪用、バグおよび/またはグリッチを利用して、レジェンドのアルティメットアビリティまたは戦術アビリティのクールダウンを抑える。
- ー選手は武器の射撃速度を上げるため、武器を眺める機能、またはリロードのグリッチを悪用できないものとします。このルールの適用例：
 - ー武器を眺める機能を利用して、武器アニメーションをキャンセルする。
 - ー武器のリロードを開始し、武器を速やかに元の武器に戻す。

- 選手は、ルートビン、サプライドロップ、および/またはリスポーンビーコンを直接攻撃して、自身、あるいは他のプレイヤーを意図的に空中に飛ばしてはいけません。
- 選手は大会期間中の自身の機器について責任を負うものとします。

17.規約変更

大会規約は運営事務局によって必要に応じて予告なしに改定する場合があります。これには規則のさらなる明確化、誤りの訂正、適用法の変更への準拠、または公開後に発生した問題への対処などが含まれます。